

# 町の家計簿を報告します

令和3年度 決算報告



令和3年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例会議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

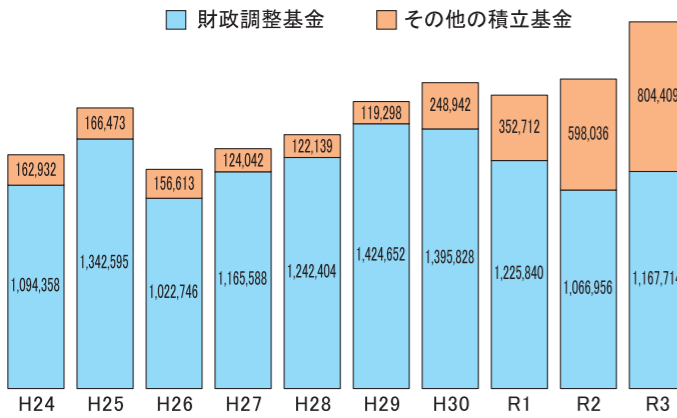
一般会計の決算は、前年度と比較すると、歳入・歳出共に減少となりましたが、決算収支は黒字決算となりました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業や、道の駅「発酵の里こうざき」の改修に向けた測量調査設計業務をはじめ、町道成田神崎線の道路改良事業や町道新町25号線の舗装新設工事などの投資的事業を実施しました。

今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

## 一般会計

歳入総額は、33億6,322万3千円（前年度比16.0%減）、歳出総額は、30億9,734万4千円（前年度比17.5%減）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、2億4,860万4千円となりました。また、町の貯金である財政調整基金の年度末の残高は11億6,771万4千円（前年度比9.4%増）となりました。

## 一般会計に係る基金の推移



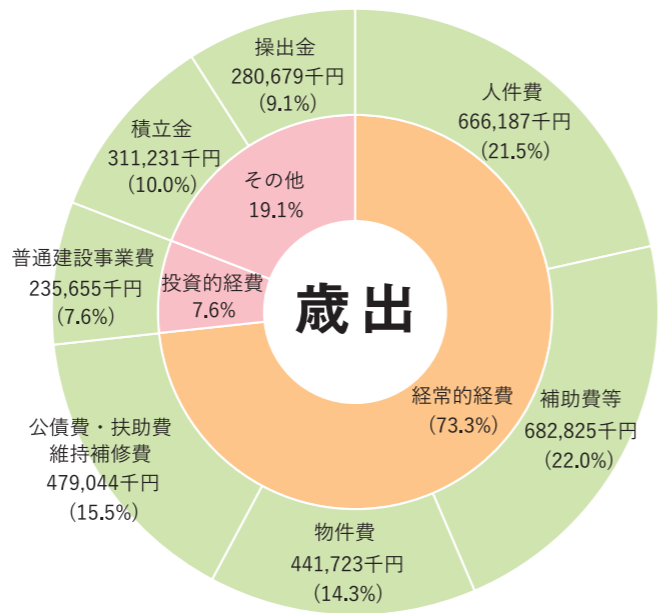
## ▶ 一般会計歳出 30億9,734万4千円

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が22億6,977万9千円（前年度比18.9%減）で、全体の73.3%を占めています。

道路や公共施設の整備などを行うための投資的経費は2億3,565万5千円（前年度比29.1%減）で、全体の7.6%となりました。

令和3年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

財政状況では、経常収支比率（経常的に収入される税金や交付税などのうち、経常経費として使われる割合）が79.9%と前年度より改善したものの、依然として余裕のない状況であることから、持続可能な財政運営のため、さらなる経費の節減に努めていきます。



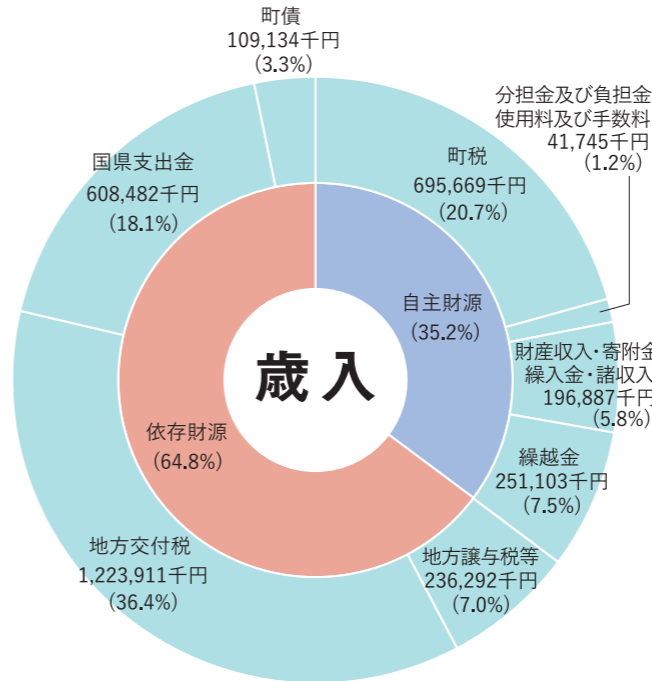
## ▶ 一般会計歳入 33億6,322万3千円

歳入の20.7%を占める町税収入は、前年度に比べ3,777万4千円（5.2%）の減となりました。

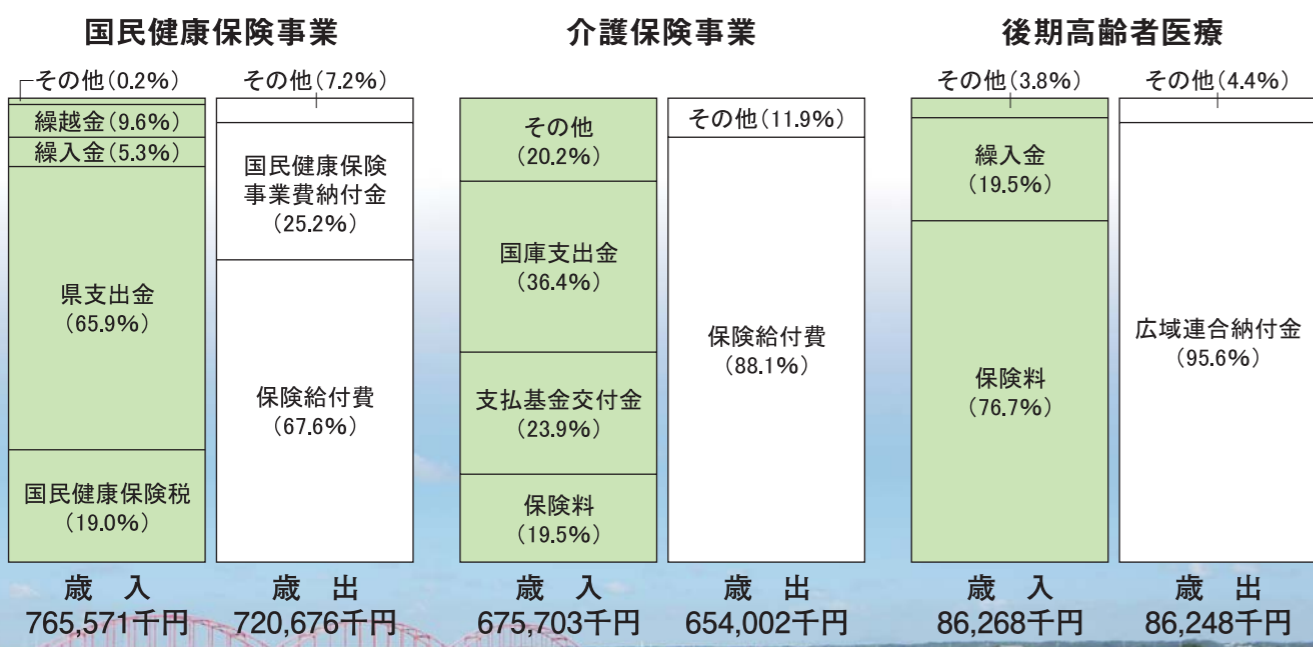
地方交付税（国から町へ交付されるお金）は12億2,391万1千円（16.3%）の増となりました。地方交付税と町税で歳入全体の57.1%を占めています。

国県支出金（国や県からの補助金など）は、令和2年度で特別定額給付金事業が完了したことなどにより、前年度に比べ5億7,085万4千円（57.3%）の減となりました。

町債については、臨時財政対策債のみを起債し、2,934万1千円（21.2%）の減となりました。



## 特別会計



## 令和3年度に実施した主な事業

- 地域経済活性化券交付事業 7,086万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 6,924万円
- 子育て世帯等臨時特別支援事業 6,734万円
- 道の駅改修事業（測量調査設計・実施設計） 5,346万円
- 非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 4,931万円
- 町道成田神崎線道路改良事業 1,104万円



## 町税の内訳

